飲酒運転は絶対に許さない!!

飲酒運転は重大な犯罪です。飲酒運転に対しての甘い考えは、取り返しのつかない悲劇を引き起こす事に繋がります。

今回は、実際に悲惨な交通事故を引き起こした加害者が執筆した手記を紹介します。

飲酒運転により死亡事故を起こした市原刑務所収監の男性（38歳）による手記

命の重さ・大切さ

私は、その年の10月末日午後9時30分頃、飲酒運転をしてしまい、一人の尊い人命を奪ってしまいました。自動車運転過失致死、道路交通法違反（酒気帯び運転）の罪名で起訴され、判決の結果、2年6月の刑期が確定し、刑務所に服役することになりました。

その日私は、取引先である会社の社長と打ち合わせをし、その後、近くの居酒屋で午後6時頃から9時頃まで飲酒をし、アルコールが入ったまま車の運転をし、取り返しのつかない事故を起こしたのです。ハンドルを握る人間として決してやってはいけない飲酒運転、毎日のように新聞やニュースでもこぞって取り上げられ厳罰化されているのにも関わらず、「自分だけは大丈夫」、「近いから、まだ時間が早いし」、「そんな飲んでないし」、「酔ってないし」と自分勝手な理屈や判断、行動が原因で一人の尊い命を奪ってしまったのです。その時は、飲んで運転している後ろめたさもあったのか、普段よりは慎重に運転していたつもりでした。突然、車の左側に何か気配を感じ、「あっ」と思った時には「ガシャン」と音がして、自転車と共に75歳の男性を撥ねてしまったのです。すぐに車から降り、被害者の方に駆け寄り何度も何度も声を掛けたのですが、反応もなくぐったりしていました。頭の中が真っ白になり、パニック状態で何がなんだか分からなくなって、ただただ「助かってくれ」、「早く救急車きてくれ」と祈ることしかできませんでした。

被害者の方は緊急手術をしましたが、意識は戻ることなく息を引き取ったと警察の方から知らされ、私は人の命を奪ってしまった事の重大さに改めて気付き、何日か食事を取ることもできず、あの時の音（ガシャン）、状況が目を閉じると再現され眠る事ができず、私自身が死んでお詫びをしなければと何度も何度も考えてました。しかし、私が死んだからといって何の解決にもならないと考え直し、一生を掛け償い続けなければいけないと思い直しました。被害者の方、被害者ご家族の事を考えたら、私はまた勝手な考えをしていると思ったのです。

私は逮捕され拘置されていましたので、直接の謝罪はできず、弁護士を通じて手紙で謝罪をし、妻や両親が私の代わりに被害者ご家族に会い、謝罪をして貰っていました。土下座をして謝罪した事を面会時に聞き、妻や両親にまで辛い思いをさせてしまっている事に本当に情けない気持ちで目を合わせることもできませんでした。保釈後、被害者ご家族に連絡を取り謝罪することができ、示談にも応じて頂きました。私の起こした事犯は決して許される事ではないのに、どんな気持ちで示談に応じてくれたのかと思うと本当に申し訳ない気持ちで一杯になりました。

私は現在、市原刑務所で受刑生活を送っています。私が起こした事犯から逃避せず向き合い、今までの自分勝手な判断や考え、大人としての自覚の甘さを改めて直し、生まれ変わる事もひとつの償いになるのではないかと過ごしています。私には命があり、これからは私の一生を懸けて償い続けていく決心でいます。それに、不自由な生活をさせてしまっている妻や幼い子ども達の事も考えれば、辛いなどと言ってはいられません。

私は被害者の命だけではなく、家族そして両親にまで被害を与えてしまったのです。それなのに私は家族に支えてもらっています。たくさんの方々にも支えられ、過ごしています。この恩を決して無駄にせず、今度は私が支えていく人間とならなければなりません。

最後に、この手記を読まれた皆様にお願いです。決して、飲酒運転を許さないで下さい。

もし身近でしている人がいるのならば、注意をし、止めさせて下さい。私のような人間がこの世からいなくなって欲しいのです。両親や妻、子ども達にこんな辛い思いを与えないで下さい。自分一人の命ではないのです。事故を起こしてから、人の命を奪ってから気付いたのでは遅いのです。命は、二度と戻らないのです。幸せな生活の日々は、戻ってこないのです。

出典／手記「命の重さ・大切さ」～「贖い（あがない）の日々・第48集」（警視庁ホームページより）

飲酒運転 指導取締り強化中!

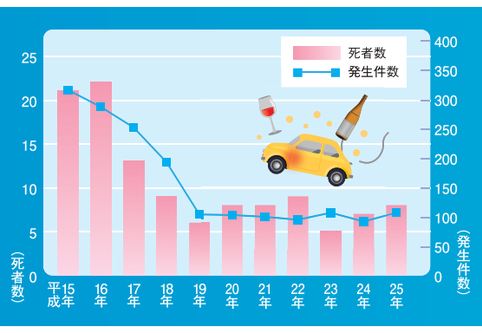
年末年始は、忘新年会などでお酒を飲む機会も増えます。

飲酒運転は「しない」「させない」「許さない」を徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

県内の飲酒運転事故の発生推移

飲酒運転事故の発生は平成13年以降、死者数については平成16年から平成19年までは大幅な減少傾向にありましたが、平成20年以降、発生件数、死者数とも下げ止まり状態が続き、根絶には至っておりません。

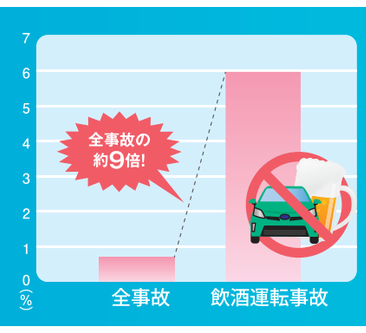
基礎データ：平成15年～25年　資料提供：宮城県警察本部



交通事故致死率比較

飲酒運転事故の致死率は全事故に比較して **約9倍!** 飲酒運転は死に至る危険性がきわめて高いのです。

基礎データ：平成25年
資料提供：宮城県警察本部



取材協力 / 宮城県警察本部　企画制作 / 河北新報社営業局営業部

『ラ・ラ・ラ運動』で夕暮れ時の事故防止!　「ライト：Light」早めのライト点灯　「ライトアップ：Light up」目立つ装備・服装　「ライト：Right」右側注意

夕暮れから夜間にかけて歩行者と車の衝突事故が多発しています。歩行者もドライバーも「ラ・ラ・ラ」を合言葉に夕暮れ時の事故防止「ラ・ラ・ラ運動」を実践し、事故防止に努めましょう。

このステッカーを見かけたら、やさしい運転で、交通死亡事故ゼロへ!

【みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン】交通死亡事故の抑止と飲酒運転根絶に向けて全力で取り組んでいます。

主催／宮城県、宮城県警察本部、河北新報社　特別協力／仙台市

●お問い合わせ／みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン事務局　河北新報社営業局営業部内
〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28　Tel. 022-211-1318　9:30～17:00（平日のみ）

警察官や銀行員を装った特殊詐欺が急増しています

不審な電話や投資関係のパンフレットに注意。
本年10月末までの宮城県内被害額
約8億7,400万円（前年同期比 **約4億2,500万円増**）

警察相談電話
TEL.022-266-9110

私たちも、「みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン」に賛同し、交通安全に取り組んでいます。

特別協賛／JA・JA共済連宮城　企画協賛／Paradiso 扇屋商事株式会社　新日鐵住金グループ

協賛

信頼&安心 みかねの相沢　Akabou　Asahi その感動を、わかちあう。　元湯 岩松旅館　ウジエスーパー　エフエム仙台　エムズテニスパーク　河北新報トラベル　カメイ株式会社　仙台トヨペット　KIRIN　SAPPORO　SUNTORY　JU宮城 宮城県中古自動車販売商工組合　安全運転をつくろう。自動車安全運転センター 宮城県事務所　花ごころの湯 新富亭　SUZUKI 鈴木工業株式会社　スモリの家　セキスイハイム東北　SEKISUI HOUSE　積水ハウス株式会社　MAST積和不動産東北　仙台育英学園　仙台中央自動車学校　仙都タクシー　JAF　DICグラフィックス(株)　ダンゼン タゼン　東北生活文化大学　TBC東北放送　東北三菱　東北三八五流通　TOYO TIRES　トヨタカローラ宮城　日産サティオ宮城　日本製紙株式会社　株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北　ネッツトヨタ仙台　ネッツトヨタ宮城　はとバス　NTT東日本 宮城支店　Fuji タイヤ&ホイール専門店　FUJISAKI　ポートピアM崎　北都観光株式会社　マツキドライビングスクール　MARUTAMA For Your JOY.　宮城県交通安全協会　宮城県自動車協会　宮城県社会保険労務士会　宮城県自動車整備振興会　宮城第一信用金庫　宮城トヨタ　宮城日産自動車　杜の都信用金庫

（順不同）